Apple Watch Series 2 スクリーンの交換

このガイドでは、Apple Watch Series 2の破損したスクリーンや欠陥品のOLEDをどのように交換するか説明します。

作成者: Tobias Isakeit

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2021-04-11 05:56:49 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

はじめに

このガイドを使って破損したり、欠陥のあるApple Watch Series 2のディスプレイを交換しましょう。

お持ちのApple WatchがwatchOS 5かそれ以降のバージョンになっているかご確認ください (ペアになるiPhoneはiOS 12かそれ以降)。これはディスプレイの交換後、ペアリングの問題を回避するためです。

ディスプレイを交換することによってApple Payの問題を引き起こす可能性があります。可能ならば、問題が起こる可能性を軽減するために、ディスプレイの交換前に、すべてのApplePayアカウントを消去してください。新しいディスプレイに交換したら、再度アカウントを作成してください。

ツール:

- iOpener (1)
- Curved Razor Blade (1)
- iFixit開口ツール (1)
- iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
- ピンセット (1)
- トライポイントY000 ドライバー (1)

部品:

- Apple Watch (38 mm Series 2) LCD スクリーンとデジタイザ (1)
- Apple Watch (42 mm Series 2) LCDスクリーンとデジタイザ (1)
- Apple Watch (42 mm Series 2 3) ディスプレイコーナー用のステッカーセット (1)
- Apple Watch (38 mm Series 2/3) ディスプレイコネクタのステッカーセット (1)
- Apple Watch (42 mm Series 2) Force Touch Sensor Gasket (1)
- Apple Watch (38 mm Series 2) Force Touch Sensor Gasket (1)

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2021-04-11 05:56:49 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

手順 1 — Apple Watchの電源を切る

- 作業の前にApple Watchの電源を切り、充電器から取り外してください。

  タッチスクリーンが破損し、電源を切れない場合は、ここに示されている方法で電源を切ってください。

手順 2 — 熱を当てます

- iOpenerを使って、(もしくはヘアドライヤーかヒートガン)ディスプレイを温めます。触ると熱い程度まで温めてください。
- iOpenerを少なくとも1分は載せて、スクリーンを十分に温めて、ケースに沿って留められた接着剤を柔らかくします。

- iOpenerを再度温めるか、接着剤が冷却されないように、スクリーン周辺に動かしながら温め続けてください。

手順 3 — あらゆる危険性に備えます

スクリーンとWatch本体の間の隙間は非常に狭いため、鋭利なブレードを使ってこの二つを乖離させなければなりません。**作業を始める前に、次の注意書きをよく読んでください。**

作業中、ナイフから完全に指を離して**指先を保護してください。**不安な方は、ナイフを持っていない側の手をレザーグローブやガーデニング用グローブを着用してください。

強いプレッシャーを本体に与えないようにご注意ください。ナイフがスリップしてしまい、怪我をしたりWatchにダメージを与えてしまうことになります。

保護メガネ**を着用してください。**ナイフもしくはガラスが割れてしまうと、破片が飛び散ることがあります。

Watch用ハンドの有無によってコントロール加減が変わる場合は、作業がやりやすい様に着用する、もしくは外してください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 4 — スクリーンをこじ開けます

- カーブしたブレードをディスプレイとアウターケースの間の隙間の中に当てます。デジタルクラウンに一番近いディスプレイの短いサイドから初めます。
- 隙間に向けて*まっすぐ*、*しっかりと*押し込みます。
- 差し込んだら、ブレードの角度を傾けてディスプレイをわずかに開く様にこじ開けます。

⚠ ナイフ先端を2 mm以上、挿入しないでください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 5

- カーブした刃によって、小さな隙間ができたら、ナイフから開口ツールに持ち替えて、細い先端を隙間に挿入します。
- 親指をコテにして、ディスプレイを少し持ち上げて開き、隙間に開口ツールを押し込みます。

⚠ ディスプレイを完全に開いたり、外したりしないでください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 6

- 開口ピックをディスプレイの下に挿入し、Force Touchガスケットをディスプレイから慎重に取り外します。

  交換用Force Touchガスケットを含む、iFixitスクリーンとバッテリー用修理キットを販売しています。あなたのWatchに修理が必要でも大丈夫です。

  もしくは、Force Touchガスケットを保存して再利用する場合は、ディスプレイ端の下を慎重にこじ開けてください。ディスプレイを持ち上げた際に、Force Touchガスケットが切断したり、ガスケットのレイヤーから外れてしまった時は、Force Touchガスケット自体も交換しなければなりません。

- 開口ピックをディスプレイ周辺にスライドして、Force Touchガスケットとディスプレイ間に付けられた接着剤をはがします。

  開口ピックを2 mm以上、差し込まないでください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 7

⚠ ディスプレイケーブルを引っ張らないようにするには、ディスプレイを完全に開かないことです。

- ディスプレイを約45度の角度で開き、ピンセットを使ってディスプレイとForce Touchガスケットの間の接着剤を慎重に剥がします。
  - ディスプレイケーブル周辺と裏に貼られた接着剤を綺麗に剥がします。

手順 8 — バッテリーの接続を外す

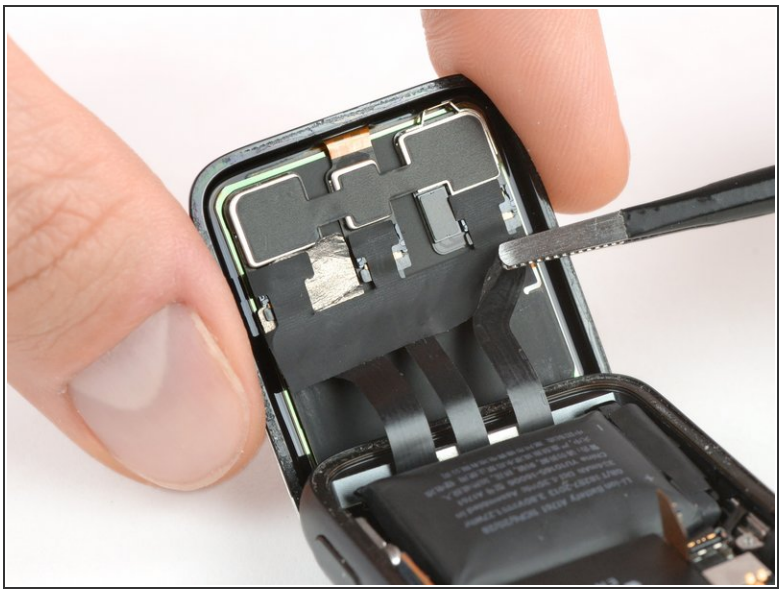
- Y000ドライバーを使って、メタル製バッテリーコネクタのカバーを固定している、トライポイントネジを外します。
- カバーを取り出します。

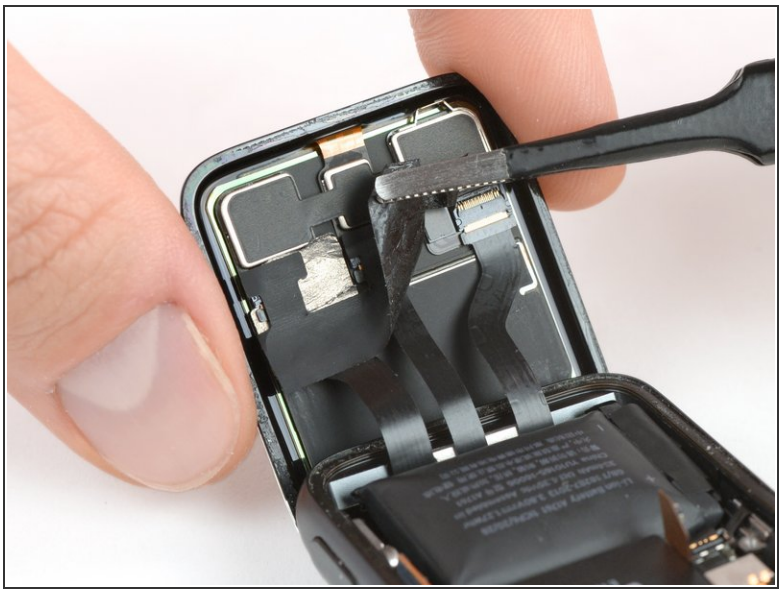
© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 9

- 開口ツールの先端を使って、バッテリーのコネクタをまっすぐ持ち上げて、接続を外します。
- アクシンデントでコネクタが接触しないように、コネクタを反対側に若干、折り曲げます。

手順 10 — スクリーン



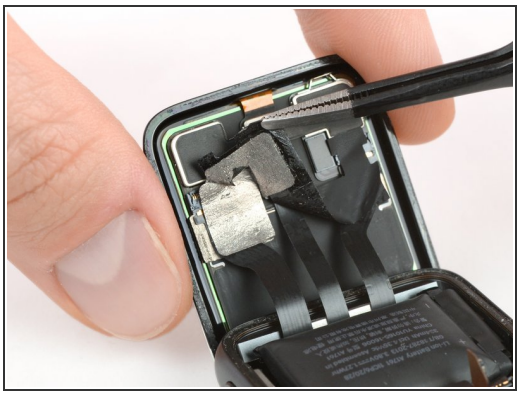
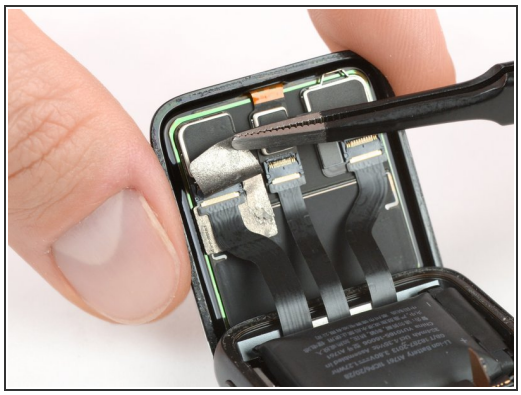


- ピンセットを使って、ディスプレイケーブルコネクタを覆っているテープを剥がします。
- テープ下側の右から作業を始め、ゆっくりに中央のコネクタ側に向けて、慎重に作業を進めてください。

テープの接着力が強力なことがあります。テープを強く引っ張ったり、ケーブルを破損させないように注意してください。必要に応じて、テープを温めたり、イソプロピルアルコールを使って接着剤を溶かしてください。

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2021-04-11 05:56:49 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

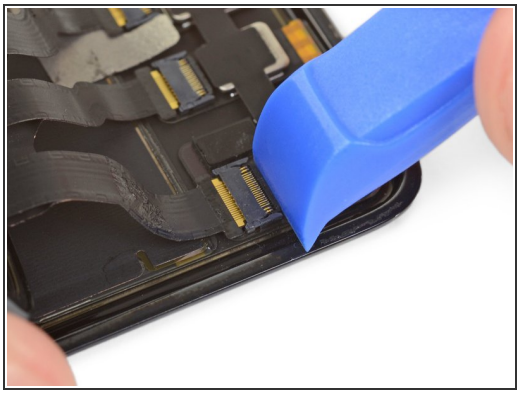
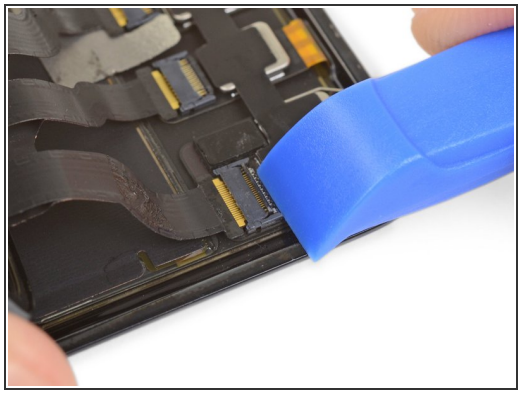
手順 11

一番左のコネクタには導電性ホイルが付いています。このホイルはテープを剥がす際に破れてしまうことがあります。

- もしホイルが破けてしまった場合は、左下から摘んで、完全に取り除いてください。 この作業をすることで、ディスプレイ上の別のホイルにダメージを与えずにすみます。

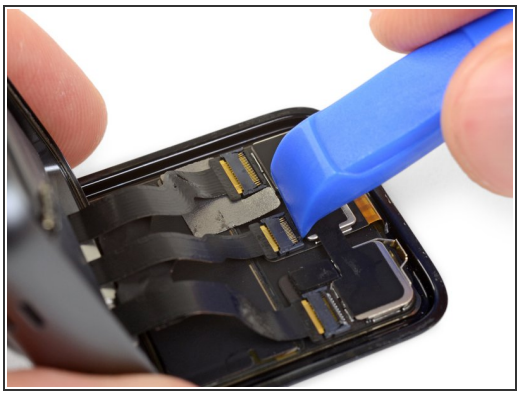
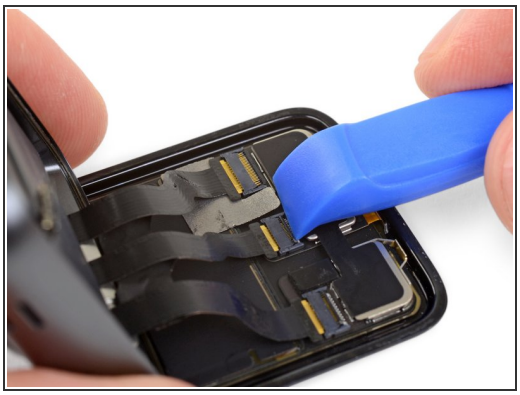
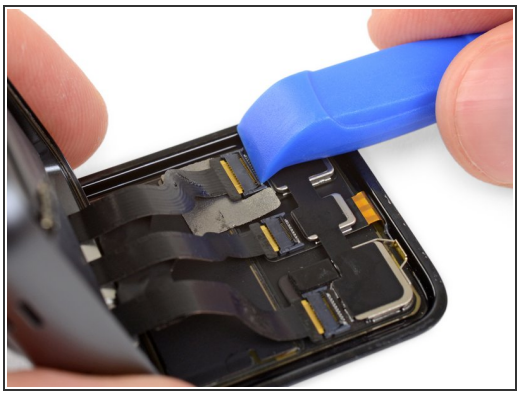
手順 12

- スパッジャー、もしくは整った爪を注意深く使い、ケーブルの反対にある小さなロッキングフラップをこじ開け、3本ある最初のZIFコネククターを解除します。

© iFixit — CC BY-NC-SA

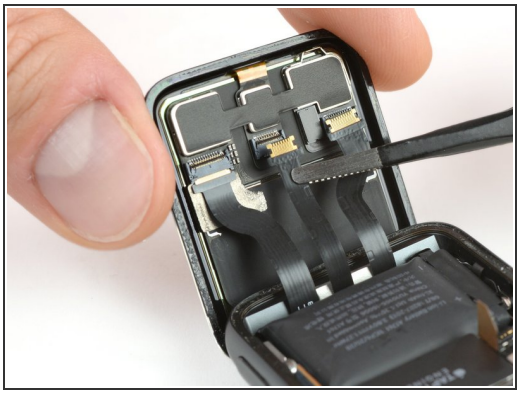
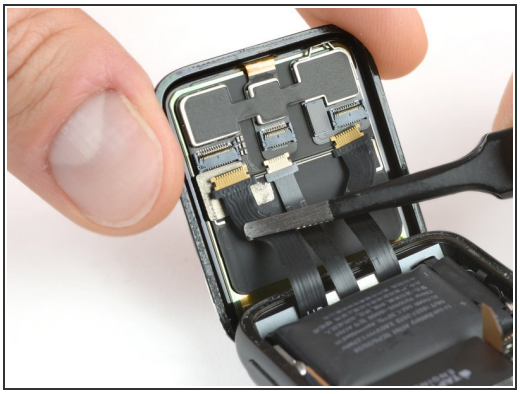
手順 13

- 残り2つのZIFコネクタ上の固定フラップを持ち上げます。

交換用のスクリーンには、通常、固定フラップが閉じた状態で付いています。再組み立ての際、ケーブルを挿入する前にこのフラップを**開いてください。**閉じた状態では、Watchにダメージを与えてしまいます。

手順 14

- ピンセットを使って、慎重にディスプレイ用フレックスケーブルを引き抜いて、接続を外します。

コネクタが外れない場合は、ゆっくりと引っ張りながら左から右へ揺らしてください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 15

- ディスプレイを取り出します。

  Force Touchガスケットとその周辺に付ける接着剤を交換するための詳細な再組み立てのインストラクションは、ガイド終わりのリンク先ガイドを参照してください。

Force Touchセンサーの交換ガイドの手順10から続けて再接着し、修理を完了します。最良の結果を出すには、手順17が終わるまで新しいディスプレイを接続しないでください。

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2021-04-11 05:56:49 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚